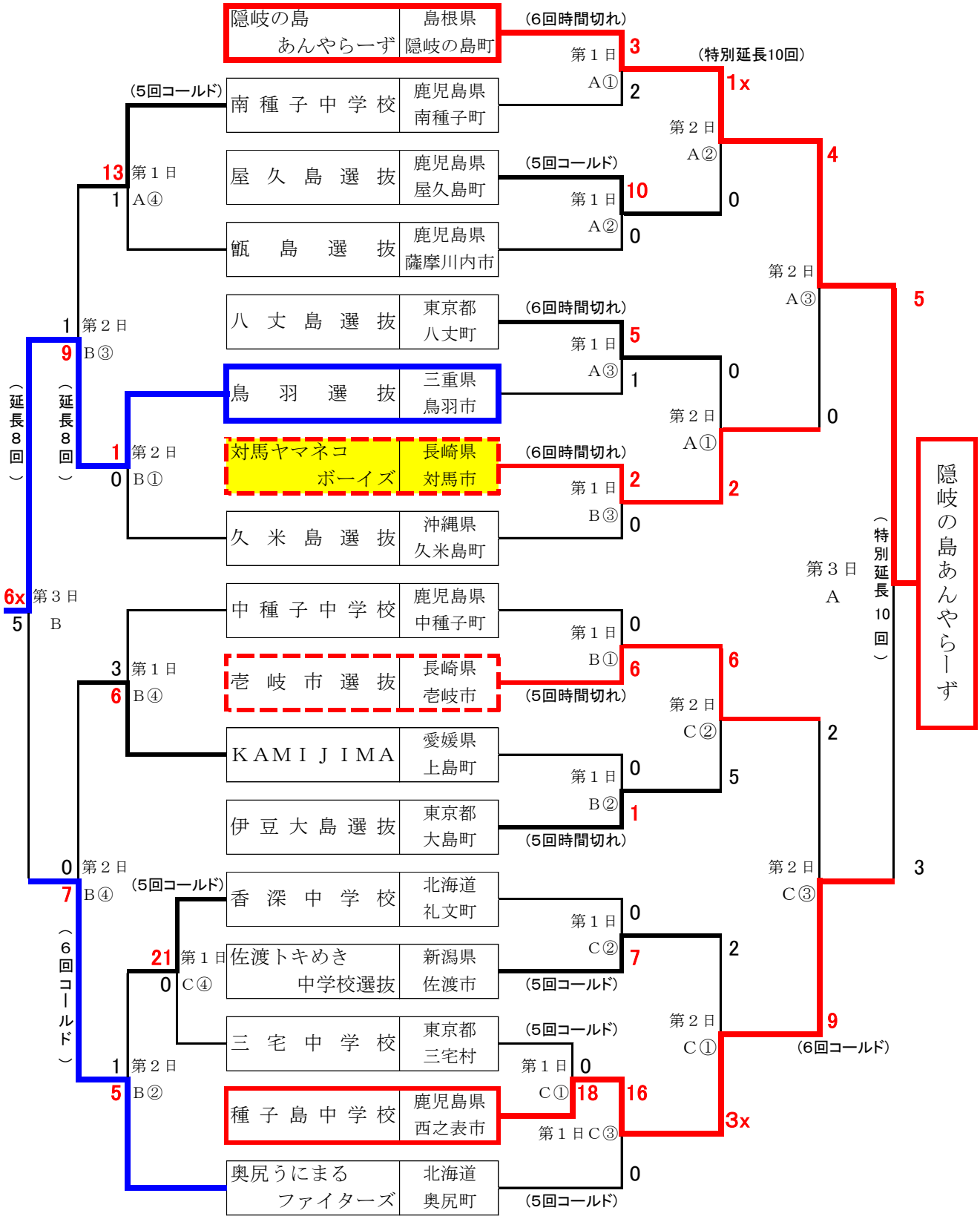
国土交通大臣杯
第3回全国離島交流中学生野球大会

会　期　　平成22年８月18日(水)～21日(土)
開催地　　鹿児島県種子島

試 合 日　第１日･8/19　第２日･8/20　第３日･8/21
試合会場　Ａ会場　南種子町　健康公園野球場
　　Ｂ会場　中種子町　中央運動公園野球場
　　Ｃ会場　西之表市　市営球場
開会式　8/19：Ｂ会場(中種子町中央運動公園野球場)
閉会式　8/21：Ａ会場(南種子町健康公園野球場)

交　流　戦

ト　ー　ナ　メ　ン　ト　戦



第３回全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)の開会式は８月19日午前８時半から中種子町中央運動公園野球場で行なわれた。昨年度優勝の壱岐市選抜の小島利幸主将が優勝旗を返還。実行委員長の長野力・西之表市長が「みなさんは島の宝であり希望。離島が持つエネルギーを全国に発信して欲しい」とあいさつ。

選手宣誓は地元の種子島中･中原勝利、中種子中･石堂晃洋、南種子中･川内田優成の各主将が「全国の仲間と交流を深め、元気にプレーし完全燃焼する」と合同で行なった。第１日は種子島島内の３会場で一二回戦９試合と、初戦敗退したチームによる交流戦３試合の計12試合が行なわれてベスト８が決まった。

上写真は南日本新聞より

【一回戦】　（５回コールド）

8/19・西之表①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
三宅中学校	0	0	0	0	0						**0**
種子島中学校	3	3	12	0	X						**18**

大会唯一の一回戦は種子島中が地元の声援を受けて試合の主導権を握り、攻めては自慢の足を絡めて効果的に得点を重ね、３人の投手リレーにより三宅島を封じた。

（投手－捕手）
谷､山田－古谷
加川､榎本､中原－南

三宅中学校は第１回大会の本戦でＫＡＭＩＪＩＭＡに13－０。第２回は本戦で五箇中(隠岐の島)に23－０、交流戦でも佐渡に17－０と過去３試合で無得点が続いていたが今回も苦戦した。

【二回戦】　（６回時間切れコールド）

8/19・南種子①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
南種子中学校	0	0	0	0	2	0					**2**
隠岐の島あんやら～ず	0	1	0	1	1	X					**3**

隠岐は二回に足立が先制打、四回には四球走者を藤田の三塁打で追加した。同点に追いつかれた五回に増本の三塁打が決勝点となった。

（投手－捕手）
立石－河口
増本－藤田

対する南種子は五回に四球と送りバントにヒットでつないだ二死一三塁に日高の意表をつくバントが相手守備の悪送球を誘って二者が還って同点としたが…。

【二回戦】　（５回コールド）

8/19・南種子②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
甑島選抜	0	0	0	0	0						**0**
屋久島選抜	5	1	4	0	X						**10**

鹿児島県勢同士の対戦は屋久島が圧勝した。初回に盗塁や安打で打線をつないで５点先制の屋久島は二回にも加点、三回にはダメ押し点の４点を挙げ、控えの選手たちも次々と登場して全員野球で10安打10得点でコールド勝利した。

（投手－捕手）
庵地－濱田
松田､夏田､谷山､日高智－久保田

甑島は二回に先頭の濱田が右前打で出塁も生かせず無得点。甑島にとっては厳しい試合だったが一人で投げ切った２年生の庵地には、チームメイト、ベンチやスタンドからは「リョウマ、頑張れ！」と声を枯らさんばかりの大声援が飛んでいた。

【二回戦】　（６回時間切れコールド）

8/19・南種子③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
八丈島選抜	2	0	0	3	0	0					**5**
鳥羽選抜	0	1	0	0	0	0					**1**

初回に４番打者の三塁打で２点を先取の八丈島が四回にも先頭の四球を足場にバントと安打をつないで３点を追加した。投げては奥山が三回以降を無得点に抑える力投で、過去２大会３試合で１点も挙げられなかった八丈島選抜が嬉しい１勝を手にした。

（投手－捕手）
奥山－清水
木下堅－木下貴

対する鳥羽選抜は第１回大会で１勝してベスト４。昨年は本戦、交流戦とも敗戦して通算１勝２敗で試合に臨んだが、二回に先頭が気迫あふれるヘッドスライディングで出塁し、バントと内野安打でつないで１点を返した。

【二回戦】　（５回時間切れコールド）

8/19・中種子①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
壱岐市選抜	1	3	0	2	0						**6**
中種子中学校	0	0	0	0	0						**0**

開会式直後の試合という緊張感からか両チーム先発投手は共に不安定な立ち上がり。壱岐が初回に１点を奪うと二回にはランニング本塁打などで３点を追加して試合の主導権を握る。

一方の中種子中はランナーを出すものの盗塁失敗などでチャンスを生かせないまま終盤へ。

（投手－捕手）
松永､南川－辻本､大谷
古市､日沢－立石､馬場

壱岐は四回に長短打を集めてダメ押しの２点を加え継投でそのまま中種子中を下し２連覇へ好発進した。

地元の大声援を受けた中種子中だったが、打線が投手を援護できずに、第４試合の交流戦に回った。

【二回戦】　　（５回時間切れコールド）

8/19・中種子②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
ＫＡＭＩＪＩＭＡ	0	0	0	0	0						**0**
伊豆大島選抜	0	0	1	0	X						**1**

（投手－捕手）
幸本－金井
木村－鈴木

息も詰まるような接戦は２大会連続準優勝の伊豆大島が敵失による１点を守り切って５回時間切れで辛勝した。二回までお互いにランナーは出すものの両先発投手が要所を締めるピッチングで０－０の展開。

試合が動いたのは三回裏の伊豆大島の攻撃。無死一塁の場面でKAMIJIMA捕手からの一塁牽制球が逸れ、ボールが外野を転々とする間に一塁ランナーが一挙ホームインして先制点を挙げ、これが決勝点となった。

五回表のKAMIJIMAは二死から連安打で一二塁のチャンスを作ったが後続が倒れ、規定により１時間30分を超えたので試合終了。予期せぬ形の決勝点となったが両チーム共、死力を尽くした見応えのある一戦だった。

【二回戦】13:20～（１時間30分）　６回時間切れ

8/19・中種子③	一	二	三	四	五	六	七	計
久米島選抜	0	0	0	0	0	0		**0**
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	0	2	X		**2**

【久米島】

⑤	備瀬稜也	5-3	4-6	3-4
⑨	糸数　樹	Ｋ振	中安	
①	糸村　拓	3F	4F	
②	仲村直人	3F	4-3	
⑧	富永竜魁	Ｋ振	Ｋ振	
⑦	高嶺　太	Ｂ	6-3	
⑥	田端聖也	5E	3FF	
③	當間汐織	1-3バ	Ｋ振	
④	上里幸平	遊安	…	
H	今井　匠	…	Ｂ	

※久米島は全員３年生

【対馬】

					盗	失
⑧	築城文士郎	3A	6-3	右安	0	0
⑥	春田勇馬	見Ｋ	5-3	8F	0	0
②	黒岩誠亥	Ｂ	Ｋ振		0	0
③	阿比留直人	左安	1-3		0	0
⑨	糸瀬拓海	Ｋ振	…		0	0
9	佐伯勇亮	…	見Ｋ		0	0
①	小島正直	4-3	見Ｋ		0	0
⑦	大浦康平	Ｋ振	…		0	0
7	原田昌樹	…	遊安		1	0
④	中島勇太	7F	…		0	0
H4	米田浩崇	…	Ｋ振		0	0
⑤	平山晶大	…	…		0	1
5	國分大樹	Ｂ	左安		1	0

好投手同士の対戦は昨年大会ベスト４の対馬が辛勝した。久米島の糸村、対馬の小島は共に力のある速球と落差のある変化球を駆使して相手打線をほんろう。

対馬は初回二死後に四球と阿比留のレフト前ライナーのヒットで一二塁の先制機を、投手からの牽制球で二三塁間で挟殺され逸した。

三回の久米島は先頭の三ゴロ失をバントとショート内野安打で一死二三塁の好機も備瀬がセカンドフライ。飛び出した二走が二塁で併殺を喫して逸した。

対馬も三回に國分が歩き二盗、遊ゴロで二死三塁と進めたが後続なく、五回に原田がショート内野安打で出ると続く米田が三振の時に二盗を決め、國分がレフト線にきれいに流し打って待望の先取点。続くトップの築城がライト前に落とす間に國分は三塁に進んで一三塁。ここで一塁牽制球を野手がもたつく間に國分が還って２点目。

原田が二盗に成功

レフト線へ先制打を放った国分

守備の戦況を見つめる一塁側ベンチ
後列左から：藤島コーチ、米田、國分　　前列左から：原田、春田一、佐伯、山城コーチ、吉野記録員、阿比留監督、財部市長

久米島は二回二死と四回は無死から二盗に失敗し、六回は一死後に四球で出たが備瀬の一塁フライで飛び出して２個目のダブルプレーで得点機を逸し、時間切れとなり初出場で初勝利は挙げれなかったが溌剌としたプレーだった。

対馬はバッテリーを中心に鍛えられた守備と、ここ一番の集中打に小技を組合わせられる試合巧者ぶりは優勝候補としての一角で準々決勝も注目できる。

２個の二塁盗塁を阻止した黒岩

２安打４三振に抑えた小島

遊撃：春田

二塁：中島　一塁：阿比留　中堅：築城

三塁：平山

左翼：大浦

右翼：糸瀬

【二回戦】　　（５回コールド）

8/19・西之表②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
香深中学校	0	0	0	0	0						0
佐渡トキめき中学校選抜	0	0	2	0	5x						7

（投手－捕手）
釜谷、佐藤－小沢
土屋敬、土屋興－駒形

中種子会場での開会式を終えて西之表会場に移動した両チームの一戦は、序盤は北海道礼文島の釜谷、佐渡の土屋、両投手の息詰まる投手戦となった。

均衡を破ったのは三回裏の佐渡、４番斎藤の三塁打などで２点を先制した。

五回に５点を加えた佐渡が７点差を付けてコールド・ゲームで香深中を下した。

北海道礼文島から遠来の香深中は初出場した昨年の大会は初戦で八丈島を下し、二回戦で同じ北海道の奥尻に敗戦したが、今回は一回戦で敗退した。

【二回戦】　　（５回コールド）

8/19・西之表③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
種子島中学校	5	6	4	0	1						16
奥尻うにまるﾌｧｲﾀｰｽﾞ	0	0	0	0	0						0

（投手－捕手）
加川、中原、榎本－南
高田－逸見

第１試合で三宅中に対して18－０で圧勝した地元の種子島中は奥尻に対しても大勝した。

初回に奥尻の立ち上がりを攻めヒットに内野安打などで打線をつなげて一挙５得点。その後も毎回安打で得点を重ねて合計16点を奪って２試合連続のコールド勝ちをおさめて、大会二日目の準々決勝戦に進んだ。

昨年初出場した隠岐大会で屋久島(2-0)、礼文(9-3)を撃破して準決勝進出した奥尻は、壱岐に苦敗(0-8)も堂々のベスト４だったが、今回は好投する種子島中の加川以下の投手を攻略できず五回コールドに散った。

両チームとも最後まで大きな声を出して戦い続け、清々しい気持ちの良い一戦だった。

種子島中、逆転サヨナラ勝ちで準決勝進出

【準々決勝】

8/20・西之表①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
佐渡トキめき中学校選抜	1	0	0	0	0	1	0				2
種子島中学校	0	0	0	0	0	0	3x				3

（投手－捕手）
土屋敬、土屋興、佐藤、土屋敬－市橋
加川－南

Ｃ会場での準決勝第１試合は最終回に劇的な結末が待っていた。

佐渡、種子島中ともに第一戦は好調な打線で勝ち上がり準々決勝も打ち合いが予想されたが、先発投手の好投と堅い守りで引き締まった試合となった。

初回の佐渡は先頭の中川がセンター前クリーンヒットで出塁。すかさず盗塁を決めると内野ゴロの間に三進。３番藤井のレフト前ヒットで１点を先制した。なおも続くピンチをダブルプレーで切り抜けた種子島先発の加川は二回から立ち直り、三者連続三振を奪うなど佐渡打線を封じ込めていく。

一方の佐渡先発の土屋敬は変化球を効果的に織り交ぜ、打たせて取るピッチングで五回まで種子島打線を１安打に抑えるすばらしいピッチングを見せた。

六回に種子島の加川が初めての四球を与えると、佐渡の打線が息を吹き返す。盗塁後に４番の斎藤が右中間にタイムリーヒットを放って追加点をもぎ取った。しかし、勝利の女神はまだ微笑まない。

佐渡の投手陣に自慢の足を封じ込まれた種子島だったが最終回の攻撃で驚異的な粘りを見せた。

この試合初めてノーアウトのランナーを出すと積極的に盗塁を決めると、３番の有馬がセーフティバントを成功させて揺さぶりをかけ、送球が逸れる間に１点を返す。さらに二盗を決めて４番の南(克)がレフト前に同点打。ここで佐渡の守備が乱れて走者を二三塁にためてしまう。そして６番の濱添が一度は失敗したものの見事に三塁前に転がし、三走がホームへ滑り込んで逆転サヨナラ勝ち。好ゲームに幕を下ろした。

種子島中・西監督「最後まであきらめない気持ちがあったのが良かった。３年生は最後の大会ということで粘り強さが出てきた。」

佐渡・加藤監督「みんなで戦おうと約束してきた。全員の力を出し切ったという誇りを持って佐渡へ帰ろうと言いたい。」

完投した種子島中・加川亮太郎投手「初回に上ずっていたストレートが二回から良くなった。次の試合も行けるところまで全力で投げたい」８奪三振の好投。

壱岐、伊豆大島を１点差で下して準決勝へ

【準々決勝】

8/20・西之表②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
壱岐市選抜	2	3	0	0	0	1	0				6
伊豆大島選抜	1	0	0	0	0	1	3				5

（投手－捕手）
松永、竹田、長山－辻本
高田、木村－高木

昨年の決勝戦と同じ顔合わせとなった(壱岐６－２)試合は選手たちが死力を尽くした好ゲームとなった。

壱岐は初回に鮮やかな先制攻撃を見せた。先頭の小島が選んで四球、続く斎藤の内野安打で一二塁に相手守備の乱れに乗じて二三塁とし、３番南川がレフト前にタイムリー。さらに内野ゴロの間に斎藤も還って２点を先制した。

伊豆大島もすぐに反撃。先頭の鈴木がセンターオーバーのヒットで出ると、３番木村が右中間を破る三塁打で１点差に詰め寄る。

しかし壱岐打線は硬さの取れない伊豆大島に攻撃の手を緩めず、二回には長短打に相手のミスも重なり、３点を奪って優位に試合を進めた。

三回以降は硬さの取れた伊豆大島と壱岐は互いに譲らないガップリ四つのまま終盤へ。

六回に両チーム１点ずつ加えて６－２と壱岐が４点リードで迎えた最終回に伊豆大島が地力を発揮する。

先頭のライト線二塁打を足場にレフト前ヒットと四球で無死満塁。押し出しの四球で１点挙げた二死後にセンター前ヒットで２点を加え１点差まで迫ったが、最後の打者がライトフライに倒れて死闘は終った。

試合前に壱岐の松永監督は昨年の決勝の再戦となるがの問いに「とにかくいい試合にしたい」と語っていたが、そのとおりの好ゲームとなった。

伊豆大島・木中監督の試合後のコメント「試合に出ているナインとベンチの計18人が一つになってやってきた。最初は選手が固くなっていたが最終回に全選手が声を出し、ようやくこのチームのやってきた戦い方ができた。そのことが嬉しい。選手にはこの戦い方ができたことを誇りに持つように話した」。

【準々決勝】08:50～（１時間29分）

8/20・南種子①	一	二	三	四	五	六	七	計
八　丈　島　選　抜	0	0	0	0	0	0	0	**0**
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	2	0	0	X	**2**

【八丈島】

⑦	播磨	3	見Ｋ	4-3	5-4
⑥	田中	2	Ｋ振	Ｋ振	７直
④	福田	3	6E-3	4L	9E
②	清水寿	3	1-3	見Ｋ	中安
③	菊池	3	Ｋ振	ＤＢ	9F
⑧	高橋	2	1-3	1-6	1-3
⑤	小宮山	2	Ｋ振	6B-3	…
H	佐々木	2	…	…	見Ｋ
①	清水里	2	1-3	5-3	
⑨	秋田	2	4-3	左安	

名前の次数字は学年

【対馬】

						盗	失
⑤	國分大樹	5-3	Ｋ振	左安		0	0
⑦	原田昌樹	4-3	5E-3	5-3		0	0
②	黒岩誠亥	2FF	投安	5-3		0	0
③	阿比留直人	Ｋ振	…	…		0	0
H3	春田一成	…	右三	4F		0	0
①	小島正直	左二	6E-3	左安		1	0
⑧	築城文士郎	Ｋ振	Ｋ振	Ｋ振		0	0
⑥	春田勇馬	Ｋ振	1-3			0	1
⑨	佐伯勇亮	Ｋ振	…			0	0
H9	糸瀬拓海	…	Ｋ振			0	1
④	中島勇太	5-3	5-3			0	0

"俺たちは！　強～～い！！！"

八丈島の清水、対馬の小島との投手戦が繰り広げられた。対馬の得点機は二回一死後に小島がレフト線二塁打。築城が三振に倒れたあとに三盗を試みたがタッチアウトで逸した。

四回の対馬は１番から。國分が三振に倒れたあと原田の三塁ゴロが悪送球で生き、黒岩の投前バントは安打となって一二塁。

ここで対馬ベンチは４番の阿比留に代えて代打の切り札・春田一成をおくると、期待に応えてライト左を越えフェンスまで達する三塁打で二者を還した。

４回裏一死一二塁に春田が右中間に三塁打を放つ

３回表の守備を見守る三塁側ベンチ
左から、米田、白石、平山、斉藤、大浦、藤島コーチ

二塁手：中島　　投手：小島　　右翼手：佐伯

対する八丈島は五回に先頭が死球出塁も投ゴロ二封と遊ゴロ併殺打で、ここまでノーヒットに抑えられていた。

六回一死後に初安打も三ゴロ二封。七回に右飛失と中前打で無死一二塁。続く右飛により二走が三塁をおとし入れて、一死二三塁と一打同点の場面を作ったが、対馬の小島が踏ん張り後続が討ち取られ得点を挙げることができなかった。

好守のカナメ。主将の黒岩

控え捕手の斉藤

一塁手：阿比留

５回から一塁の春田一

三塁手:國分　遊撃手:春田勇　中堅手:築城

左翼手：原田

５回表まで右翼手の佐伯

壮行会

財部市長の激励のことば

黒岩誠亥主将

ヤマト運輸

ａu対馬店

鹿児島本港南埠頭より種子島（西之表港）へは高速船で95分

西之表港では歓迎の『種子島鉄砲太鼓』が出迎え…

開会セレモニー

西之表市民会館

サプライズゲストで前原国土交通大臣があいさつ

開会式

中種子町中央運動公園野球場

まさかりドリームス VS 離島選抜チームの交流戦

対馬ヤマネコボーイズからは、平山晶大(鶏知中)が８番センターで先発出場。離島選抜チームは二番手の北別府投手から三回までに３点を奪ったが、その裏に南牟礼の特大ホームランなどで一挙５点を奪って逆転。四回にも藤田の二塁打などで加点してまさかりドリームスが勝利した。

対馬の平山は５イニングスをフル出場し、２打席目の五回に西崎投手からセンター前にテキサスヒットを放った。

センターを守備する平山(右端)。一塁走者は鈴木伸。
一塁手は久米島から選出された當間汐織さん。

５回表の第２打席で西崎投手からセンター前にヒット

【準々決勝】　　（延長10回は無死満塁制）

8/20・南種子②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
屋　久　島　選　抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
隠岐の島あんやら～ず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	**1**

屋久島の松田、隠岐の島の増本。両投手の好投により七回終了まで両チーム共２安打の投手戦で、八回から今大会初の延長戦となった。

九回裏の隠岐の島は先頭の藤野がライトオーバーの三塁打。ここで満塁策を敷いた屋久島守備陣は松田の

（投手－捕手）
増田良－久保田
増本－藤田

力投とバックの堅い守りで無得点に抑えると、10回からは大会規定により無死満塁制の特別延長戦。先攻の屋久島を無得点に抑えた隠岐の島は、先頭打者が四球を選んで押し出してサヨナラゲームとなった。

２時間３分の熱戦だった。

【準決勝】13:59～（１時間26分）

8/20・南種子③	一	二	三	四	五	六	七	計
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	0	0	0	0	**0**
隠岐の島あんやら～ず	0	1	1	0	2	0	X	**4**

【対馬】

					失
⑤	國分大樹	6-3	2-3	…	1
2	斉藤聡太	…	…	5-3	0
④	中島勇太	4-3	…	…	0
H4	米田浩崇	…	4-3	…	0
H7	阿比留直人	…	…	左安	0
②5	黒岩誠亥	見Ｋ	9F	左安	0
①6	小島正直	中安	6F	1-3	0
③	春田一成	遊安	7F	3A	1
⑨	原田昌樹	3-4	6-3	1-3	0
⑥	春田勇馬	1-3	…	…	0
1	佐伯勇亮	…	中安	B	0
⑧	築城文士郎	9F	5-3	1-3	0
⑦	大浦康平	1-3	…		0
74	白石雅樹	…	3A		0

【隠岐の島】

⑦	野津　優	左安	Ｋ振	左三
③1	藤野功太郎	5-3	5-3	1-3
⑥	平井大史	3FF	2FF	B
①5	増本凌也	8F	1-3	見Ｋ
⑤3	野津拓朗	中本	5FF	8F
②	藤田　樹	Ｋ振	Ｋ振	1-3
⑧	佐々木　仁	B	4-3	…
H9	藤田大勲	…	…	1-3
④	足立大季	4-3	5-3E	
⑨8	山岡拓人	5E-3	6FC	

※隠岐の島は全員３年生

前回の開催地で第１回大会の覇者・隠岐の島に挑んだ準決勝戦は、前試合の屋久島戦で延長10回を完投した隠岐の島エースの増本が、連投にも関わらず速球を低めに集め、五回から救援の左腕・藤野とのリレーで対馬を完封した。

隠岐の島は初回に先頭が左前打で出たが、一塁牽制球を一塁手・春田のトリックプレイでタッチアウトされた。だが二回一死後に５番の野津が右中間を破るランニング本塁打で先制。さらに三回は先頭の三塁ゴロ悪送球と二盗の一死二塁に藤野の三塁ゴロで二走が一気に本塁突入、守備の乱れもあって生還し２点目。

五回には三塁ゴロを一塁手の捕球ミスと遊ゴロ野選の一死一二塁に、初回に好打した１番の野津がラーナーでレフト越えの三塁打し２点を加え大勢を決めた。

対馬もエースの小島が連投し、その小島が二回先頭でセンター前にライナーのヒット。春田がバントをうまくショートに取らせて内野安打となり無死一二塁。原田の一塁ゴロで二三塁となったところで春田勇との間でスクイズ。だが空振りとなり三本間に挟まれて、三塁ベース上で二塁走者の春田一が憤死。その挟殺プレーで三本間で疲労した後の一死後に小島は野津にランニング本塁打を浴びた。

三、四回と三者凡退の対馬は、五回に四回先頭からマウンドに上がっている佐伯が中前打するも二死後。六回にも代打の阿比留と黒岩が連安打して追いすがるが期待の４番・小島は投ゴロに終った。

これで対馬は、２年連続のベスト４に終ったが、どこまでも明るい『対馬ヤマネコボーイズ』ナインは、

試合終了後に三塁ベンチ前で〝俺たちは！強い！！イチバァ～～ン！！！〟と、チームの結束を固めた。

【準決勝】　　（６回コールド）

8/20・西之表③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
壱　岐　市　選　抜	0	0	0	2	0	0					**2**
種　子　島　中　学　校	3	0	2	2	0	2x					**9**

（投手－捕手）
松永、長山－大谷
加川、榎本、有馬－南

種子島中は初回に満塁のピンチを無失点で切り抜けると、壱岐のお株を奪う先制攻撃で３点を先取すると効果的に得点を重ねて、粘る壱岐を振り切って初出場で決勝戦に進出した。

【決勝】　　（延長10回は無死満塁制）

8/21・南種子 9:00～	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
隠岐の島あんやら～ず	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	**5**
種　子　島　中　学　校	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	**3**

（投手－捕手）
増本－藤田、山岡
加川－南

前回大会の開催地と、今大会の開催地の顔合わせとなり、一塁側スタンドには隠岐の島から駆けつけた応援団10人余りと、三塁側には地元応援団が陣取って開始された。

隠岐の島は初回に種子島の左腕小兵の加川の立ち上がりを攻め、先頭が死球で出るとバントで送る。三振後に４番でエースの増本が右中間を深々と破る三塁打で鮮やかに先制点を挙げた。その裏の種子島も一死後にエースの加川が四球を選びバントで特点圏に進めたが期待の４番はショートフライに倒れた。

その後、両チームとも走者は出すものの、お互いに鍛えられた守りでエースを盛り立てて、両投手共それに応える力投であと１本を打たせないピッチングで、緊迫した展開のもとに試合は進んだ。

試合が動いたのは六回裏の種子島。３番の有馬がここまで手の出なかった増本からライト線への三塁打で一死三塁の好機を作った。４番の南(克)へのサインはスクイズ。隠岐の島バッテリーはこれを読んで空振りを奪い一瞬ピンチを切り抜けたかに見えたが、捕手がボールを前にこぼしてしまい、三本間で一度は止まった三走の有馬は再び果敢に本塁へ突入し、ヘッドスライディングで１点をつかみ取りようやく同点とした。

左写真は南日本新聞より

こうなると追う者の強味で、最終の七回裏の種子島は一死後に７番の中原がライト線三塁打。この最大のピンチも隠岐の島のエース・増本は連日の連投を感じさせない力強い投球で、後続を浅いライトフライとショートゴロに討ち取って踏ん張る。

通常の延長、八回と九回は双方無得点で、十回は無死満塁制の特別延長戦。先攻の隠岐の島は打順良く３番の平井がライト前に弾いてまず１点。続く増本もレフトへ飛距離十分の犠牲フライで２点目を挙げると、５番の藤田が左中間へ走者一掃の二塁打を放って２点を加え、この回に大きな４点を挙げた。

種子島はその裏に、犠牲フライと投手暴投による２点を返すのが精一杯で、好投手・増本の前に力尽きた。

上写真は日刊スポーツ新聞より

ＭＶＰは増本凌也投手（隠岐の島）

閉会式で二度の延長10回を制して勝ち上がった隠岐の島あんやらーずに、賞状、並びに優勝旗、国土交通大臣杯と大会協賛のナガセケンコー㈱から軟式ボール30ダースが贈られ、準優勝の種子島中学校には賞状と準優勝杯、軟式ボール20ダースが、また第三位の対馬ヤマネコボーイズと壱岐市選抜には、賞状と第三位楯に軟式ボール10ダースがそれぞれに贈られた。

個人賞は大会提唱者の村田兆治さんが選んだＭＶＰに、決勝戦までの４試合で378球を投げ、前日も延長10回を含むダブルヘッダーで15イニングスを投げ、打っては決勝戦で初回に三塁打を放ち先制のホームを踏んだ、隠岐の島の増本凌也が選ばれ、サイン入りグラブとバット、帽子が贈られた。

特別賞には、決勝戦で増本と投げ合い完投したが、惜しくも準優勝となった小柄な左腕の加川亮太郎と、準々決勝戦で敗退するも、隠岐の島戦で延長10回に力尽きた屋久島の松田龍青。腕の振りがよく将来性のある投手で、この二人にサインボールが贈られた

またガッツプレー賞として、次の５選手にサイン入り『まさかりドリームス特別キャップ』が贈られた。

(隠岐の島)平井大史　(種子島中)有馬祐樹、濱添暉
(屋久島)西川佳祐　(久米島)喜久村槙人

野球教室

投手組の小島と春田は、種子島中、三宅島と共に北別府投手から指導を受けた

南種子町野球場

野手組は水上選手から打撃指導を受けた（左：三宅島、右：種子島中）

突然の豪雨でも、この組だけは引き上げなかった

閉会式

①中島　勇太(鶏知中)
【久米島戦】先発7番二塁
左飛
【八丈島戦】先発9番二塁
三ゴ、三ゴ
【隠岐島戦】先発2番二塁
二ゴ

②斉藤　聡太(豊玉中)
【久米島戦】
出場なし
【八丈島戦】
出場なし
【隠岐島戦】途中1番捕手
三ゴ

③国分大樹(豊玉中)
【久米島戦】途中9番三塁
四球、左安
【八丈島戦】先発1番三塁
三ゴ、三振、左安
【隠岐島戦】先発1番三塁
遊ゴ、捕ゴ

④米田　浩崇(豊玉中)
【久米島戦】代打8番二塁
三振
【八丈島戦】
出場なし
【隠岐島戦】代打2番二塁
二ゴ

⑤大浦　康平(鶏知中)
【久米島戦】先発7番左翼
三振
【八丈島戦】
出場なし
【隠岐島戦】先発9番左翼
投ゴ

⑥築城文士郎(豊玉中)
【久米島戦】先発1番中堅
一ゴ、遊ゴ、右安
【八丈島戦】先発6番中堅
三振、三振、三振
【隠岐島戦】先発8番中堅
右飛、三ゴ、投ゴ

⑦白石　雅樹(仁田中)
【久米島戦】 出場なし
【八丈島戦】 出場なし

【隠岐島戦】
途中9番左翼→二塁
一ゴ

⑧春田　勇馬(仁田中)
【久米島戦】先発2番遊撃
三振、三ゴ、中飛
【八丈島戦】先発7番遊撃
三振、投ゴ
【隠岐島戦】先発7番遊撃
投ゴ

⑨原田　昌樹(仁田中)
【久米島戦】途中7番左翼
遊安
【八丈島戦】先発2番左翼
二ゴ、三ゴ失、三ゴ
【隠岐島戦】先発6番右翼
一ゴ、遊ゴ、投ゴ

⑩黒岩　誠亥(鶏知中)
【久米島戦】先発3番捕手
四球、三振
【八丈島戦】先発3番捕手
捕飛、投安、三ゴ
【隠岐島戦】
先発3番捕手→三塁
三振、右飛、左安

⑪平山　晶大(鶏知中)
【久米島戦】先発9番三塁
打席なし
【八丈島戦】 出場なし
【隠岐島戦】 出場なし

⑫佐伯　勇亮(仁田中)
【久米島戦】途中5番右翼
三振
【八丈島戦】先発8番右翼
三振
【隠岐島戦】途中7番投手
中安、四球

⑬阿比留直人(豊玉中)
【久米島戦】先発4番一塁
左安、投ゴ
【八丈島戦】先発4番一塁
三振
【隠岐島戦】代打2番左翼
左安

⑭糸瀬　拓海(鶏知中)
【久米島戦】先発5番右翼
三振
【八丈島戦】代打8番右翼
三振
【隠岐島戦】 出場なし

⑮春田一成(仁田中)
【久米島戦】 出場なし

【八丈島戦】代打4番一塁
右三、二飛
【隠岐島戦】先発5番一塁
遊安、左飛、一ゴ

⑯小島　正直(鶏知中)
【久米島戦】先発6番投手
二ゴ、三振
【八丈島戦】先発5番投手
左二、遊ゴ失、左安
【隠岐島戦】先発4番投手→遊撃
中安、遊飛、投ゴ

発　行　日　　平成22年8月26日
記録・編集　　吉野　徹(大会帯同審判員)
　　対馬軟式野球連盟　理事長
写　　真　　小島　太(大会引率マネージャー)
　　対馬市地域再生推進本部　主任
　　吉野　徹
本文中の各試合の戦評は下記のKDDIサイトの「離島甲子園応援ブログ」
記事より一部を引用しました。　http://www.kddi.com/ritou/

	西崎 幸広	鈴木 伸良	増本 宏	松沼 雅之	鈴木 孝政	田野倉 利男	村田 兆治	藤田 平	北別府 学	平野 謙	村岡 耕一	水上 善雄	南牟礼 豊蔵	佐藤 洋
16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	コーチ	2	1	監督	コーチ
小島 正直	春田 一成	糸瀬 拓海	阿比留 直人	佐伯 勇亮	平山 晶大	黒岩 誠亥	原田 昌樹	春田 勇馬	白石 雅樹	築城 文士郎	大浦 康平	米田 浩崇	國分 大樹	藤島 亨	斉藤 聡太	中島 勇太	阿比留 善雄	山城 啓資